

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 19-008)

1 World Bank の支援によるミクロネシア海洋投資プロジェクト（総予算 3,849 万 US ドル）

[原文](#)

(18 April 2019, The World Bank)

※Document Title 1 Micronesia - Maritime Investment Project (English) をご覧ください。

2 「海洋生物多様性に関する公海条約の調整に関して、パラオは積極的に役割を果たす」とポルトガルで開催された The Ocean Meeting でパラオ大統領は発言

[原文](#)

(21 May 2019, Island Times)

※以下のIsland Timesは、時間帯によってアクセスできない場合がございます。
その際は、お手数ですが時間をしばらくおいてから再度お試しください。

3 パラオ国会において、国家海洋保護法の修正を求める議案が提出（パラオの地元漁業者のための海域（EEZ 全体の 20%）において、延縄漁船の操業及びその後の輸出を認める提案）

[原文](#)

(21 May 2019, Island Times)

4 インドネシア大統領選の地域別選挙結果（ジョコ大統領は、全体で 55.5% の得票率を獲得し、プラボ氏（44.5%）を下す）

[原文](#)

(22 May 2019, The Straits Times)

5 シンガポールの東海岸に 200mに渡って、大量のペットボトル、木材片、家庭ごみが漂着

[原文](#)

(28 May 2019, The Straits Times)

【アメリカとミクロネシア 3 国大統領の会談関連】

6 アメリカとミクロネシア 3 国は、太平洋諸国として、自由で開かれた繁栄したインド太平洋地域への関心を再確認し、自然災害への対応・違法な漁業と

の闘い・経済発展・法の支配の強化・太平洋諸島の環境復元力の支援を含む、この地域の喫緊の課題に取り組むため、二国間及び太平洋諸島フォーラム等を通じた共同イニシアチブの継続を決意する等を内容とした共同発表を実施

[共同発表](#)

(21 May 2019, The White House)

7 アメリカ大統領とミクロネシア 3 国（アメリカと自由連合盟約（コンパクト）を結ぶパラオ、ミクロネシア、マーシャル諸島）大統領をホワイトハウスに招いた歴史的会談をアメリカ内務長官が称賛

[原文](#)

(21 May 2019, US Department of the Interior)

8 ミクロネシア 3 国大統領がアメリカ国防総省を訪問し、自由で開かれた太平洋の維持、変化する地域の安全保障環境、アメリカのミクロネシア 3 国への防衛に対するコミットメント等共通の関心事項について議論（国防長官代行公式声明）

[原文](#)

(21 May 2019, US Department of Defense)

9 アメリカは、ミクロネシア 3 国との防衛協力関係を再確認

[原文](#)

(22 May 2019, Radio NZ)

10 【オーストラリア研究機関による論説】 尊敬の証拠：アメリカと自由連合盟約を締結しているミクロネシア 3 国大統領がワシントンを訪問（「ミクロネシア 3 国が持つ戦略的な位置と中国による地政学的な緊張状態がこの会談の重要なポイントであること」をパラオ大統領が指摘）

[原文](#)

(22 May 2019, The Interpreter)

11 「マーシャル諸島は、中国からの経済的な圧力に直面している（疑惑のある違法な船舶の入港と（マーシャル諸島内に）半自治区を設置するという提案）」とマーシャル諸島大統領が発言

[原文](#)

(22 May 2019, Pacnews)

12 太平洋島嶼国の専門家によれば、太平洋島嶼国において重要な気候変動問題については、アメリカとミクロネシア 3 国大統領では議論されず

[原文](#)

(23 May 2019, Radio NZ)